

2年目は旅をテーマに・・・「学校でひらく舞台芸術教室」

舞台芸術のアーティストを学校に派遣し、正規の授業の中で3カ月にわたり学びと創造とコミュニケーションの力を育む「学校でひらく舞台芸術教室」を平成23年から実施しています。今年度は、岡山市立竹枝小学校に舞踊家・北村茂美さん、岡山市立朝日小学校に須原由光さん率いるズンチャチャが講師で入り、7月12日犬島で合同発表交流会を行いました。昨年に引き続き、講師をしていただいた北村茂美さんに寄稿していただきました。

人間の身体はみんな天才や!

北村茂美

竹枝小学校のみんなにとって、私は新幹線で登校してくる「しげやん」なのです。2週間に一度、3カ月間草津から通い、ダンスを踊り、作り、人に観てもらう場(=サプライズを仕掛ける悦びを堪能する場)を作る人です。

1年目、私たちは竹枝の四季とその日常を凝縮したダンスを作りました。2年目は、旅をテーマにダンスを作り、実際に犬島へ旅をしたのです。私たちにとって肝心なのは、身体の実感。上手い下手ではなく、その人から絞り出された動きは本当にかっこいいし、たとえ上手にできても、言われた通りにやっておけばいいや、という身体はくすんでしまいます。

こうしたダンスの美学を追求できたのは、子どもたちも先生方も、実に柔軟で寛容だったからです。一緒に給食を食べ、踊り、笑い、語り合う中で、ものすごいエネルギーを交感し合い、繋がり合い、幸福な関係を築くことができました。

去年は、上級生が下級生のお世話をしている姿をよく見かけたのですが、今年は、相手が自分であることを待ってあげている感じがしました。お互いを認め合うことが深まったのかな?だから打てば響くような速度で創作が進みました。

犬島のキラキラ光る海を背に、竹枝の子どもたちは光り輝き、鳥のように龍のように躍動しました。自分で一步を踏み出し、最後まで自分でやりきる勇姿に、私は確信し、感謝感激するのです。「やっぱり身体は天才や!!」と。



北村茂美(きたむらしげみ)／舞踊家・振付家

大阪府生まれ。国内外で公演活動が続けるとともに、全国の小中学校や公共ホール等で体験型講座に取り組む。第1回TORII AWARDにおいてフランス賞とオーディエンス賞、平成15年度大阪舞台芸術新人賞、平成22年度滋賀県文化奨励賞を受賞。滋賀県草津市在住。